

刊夕 日十月十

常磐音日新聞

定額 一部五円 二部五円 三部五円 四部五円 五部五円
 廣告料 五部十二字 一行五部 五部
 日曜祭日の日休刊
 発行所 常磐音日新聞社
 印刷所 常磐音日新聞社

小波忌遺芳 (2)

山内 秋生

廣島に於ける四十二日間の病院生活も、その後半は時々床に起きかへつて筆を執られ、大方の知人へは見舞の返事や通信をお出しになつた。筆者如きに對しても、七月三十日附で、次のやうな短信を下された。

此間は早速見舞難有、其後一ヶ月も経もはや八分快癒來十日頃には歸京致可安心を乞ふ。但し今度の手術の結果當分或は永久に半分の馬力を減じられた感あり。此点聊か悲觀されもする。何しろ轉向の御仲間入を要するらしい、呵々。

ノート

新聞五枚の目方は大體百瓦約二十七枚である。枚數を數へておけば賣る時には目方を誤魔化されぬ

轉向の二字に殊更ら之を附されたのは、當時の世相を諷刺された諧謔であり、また前途を考へられた眞面目さもあるであらうが、あゝ、それが遂に彼の世へ轉向されやうとは!

此間の先生の御心境は、次の狂詩に現はされてゐる。之は廣島から知人某氏へ書き送られ、後に病中の漫筆を加へて「超平仄」(腸閉塞をもぢつて)と題し、雜誌書道に寄せられた。活字になつたものゝ終筆であつた。

其一
 早與煩惱欲絶縁。生憎凡夫難學仙。私怖此儘存生屍。孤影暗然送晚年。

其二
 世上偶有意外縁。人間時無俗中仙。此上災厄究其極。新得通達安晚年。

其三
 三代結來文墨縁。徒賣虛名貧如仙。唯希大患禍轉福。猶算誕生若干年。

其四
 元來病院乏御縁。去迎無病非比仙。如今初識手術味。自切齋緒六四年。

其五
 執刀博士實親縁。割腹洗腸技似仙。御蔭豫後頗良好。元氣恢復忘老年。

又
 會綴小説寫實情。更編童話描神仙。如今再籠書齋裡。原稿生活送晚年。

之は先生の先考一六居士の辭世
 風月江山結風縁。不希成佛不希仙。昭代恩澤一何厚。遊戯人生七十年。

の韻(縁仙和)を次いで作られたもので、初め之を受取つた某氏は、心を暗くしたといふことである。然し先生としては、辭世だから

【朝】味噌汁 かつ 小付
 うづら豆
 【晝】鹽やき さんま 大根
 おろし
 【晚】鮮南はんむし 酢味噌
 豚肉 さきねぎ

【晝】鹽やき さんま 大根
 おろし
 【晚】鮮南はんむし 酢味噌
 豚肉 さきねぎ

どうといふやうなお考へはなく、例の風流から漫然と先生の作を頭に浮べて、もされたのであつたかも知れない。

やがて我が腹や裂かれん
 時鳥
 咳すればひとく傷所や時鳥

二時間及ぶ手術や明け易き
 麻酔から覺めると、腹一面の綑帯! 靜かに己れを客觀し、運命を凝視した時風流の前に、身體全體が投げ出された。

この夏や我が腸も土用干この一句、達觀を通り越して虚無、何處かで先生の笑ひ聲が聞えるやうな氣がする。

御料理 折詰 仕出し

松茸料理を

始めました

平二警察署裏通り

魚清食堂

電話六三三

本日開店

素晴らしい味覺の殿堂です
 御散策、シネマのお歸りに是非!

お食事と喫茶の店

今成食堂

平三(警察署通り)

喜多流謠曲と仕舞の

お稽古をお奨め致します

平町田町六九

喜多流 仕舞 白土會

内科 小兒科 花柳病科

藤沼醫院

平町紺屋町 電話五〇七番

玉屋洋品店
 平町田町通電話五〇六番

耳鼻咽喉科専門

平田町 (電話六九一番)

病室完備 自炊便有

山内醫院

醫學士 山内亨吉

是非!

御融通には御用命下さい
 萬事便利な御相談に應じます

三井質店

平四・電六〇六番

耳鼻咽喉科専門

大和田醫院

平町南町一六 電話一七〇番

今秋の豪華版に 興味の最高峰!

若やくぐ三中等學校教員 秋空の下熱球を競ふ

▽本社主催の野球戦

昨秋第一回大會を菊花薫る櫻ヶ岡グラウンドに開催
フアンの熱狂裡に熱戦を展開して技倆伯仲の三校リ
ーグ戦には遂に一勝一敗の同率となり結局トーナメ
ントに依り磐女軍に凱歌あがった本社主催の中等學
校教員野球戦は讀者各位の記憶にまだ新たなるこ
ころであるが、その後各チームに夫々メンバーの異
動もあり今シーズン當初より清新の氣横溢各校共に
今必勝を期して猛練習中の處果して昨秋の覇者磐女
連勝の成果を獲ち得るか、打倒磐女の意氣高き平商
の雪辱なるか將又、柳澤新投手を擁して優勝目指す
磐中軍の躍進如何に、あけて興味は二日後の大會に
賭けられて各方面の前人氣最高調に達し今秋スポ
ーツ界の豪華版的催しとして多大の待望裡にその日
の來るを鶴首されて居る

技倆伯仲の 昨秋を顧みて

今年の妙技を期待

二日後に迫つた第二回の大會を前に昨秋の成績を顧みるに最初のリーグ戦に於て

磐中	9	7	磐女
磐女	17A	12	平商
平商	8	6	磐中

三者同率の白熱戦となり更に續行されたトーナメント戦は

磐女	6	4	平商
磐女	14	7	磐中

妙技を續出すべきは想像に難くなく此處に興味の中心がある

多士濟々の 陣容を見る

平商矢野校長 陣頭に立つ!

各チーム正に意氣衝天

必勝の意氣に燃える三校チームの陣容は未だ正式メンバーが交換されず大會當日まで未知數の興味を残してゐるが練習其の他の方面より推すに

磐中

昨秋三チーム隨一の打撃力を有しながら新谷、野口の兩豪球投手に制球力乏しく潰滅したに鑑み強力投手團編成に焦燥の折柄柳澤新投手の來任は同チームにとつて天の恵みともいふべく一同時期到來とばかり勇み立ち大會の日を待ち切つてゐるが新投手を中心に編成したメンバーは左の如く

中農玉川支部 中堅

農民玉川支部結成は昨九日舉行されたが支部長に小泉忠文氏を推薦、副支部長柳内英一郎氏、會計は支部長兼任評議員は各部落一名の計八名就任、支部員は十六名であるが當面の仕事として同村に未だ施設なき實行組合の設置實現と裁種法の責任指導をすることになつたと

平商

息詰るやうな大接戦の末二点の差で磐女軍に勝を譲つた平商軍は今年こそは光輝燦然たる大優勝旗を獲ち得んものとホームグラウンドの地の利を得て意氣衝天の感あるが武川主將が大會當日に双葉出張を餘儀無くされため矢野校長自ら陣頭に馬を進め全軍を叱咤の管である、磐中と共に昨秋投手難の悲哀を痛感した同軍は猛練習に著しく進境を示したサウスボー若松投手を主戦投手として速球を誇る清水三壘手をリリーフに起用し更に新田下山田、菅原の名トリオで比較的破れ易き外野陣に鐵桶の守備を誇り宮澤、阿部、玉手、若松の打線何れもムラなく殊にピンチヒッターに麻原氏を起用するあたり戦はずして敵を呑むの概あり矢野校長のリード振り如何は今大會の話題の中心となつてゐる、

腕投手が健在で大きく切れるアオドロは益々凄味を加えて老練の域に達し、全軍を指揮する土岐主將は遊撃に身を挺して俊敏筆の如く活躍全軍をリードし更に新人蝦名選手はかつて文理大のラグビー主將として活躍した俊足の所有者でその守備範圍の廣さは昨秋不備の外野の穴を埋めるに餘りあるところと觀られてゐる、同軍新編成のメンバー左の如く

鑛産税を めぐる紛糾

今後一層激甚か

炭礦地帯の窮狀を訴ふ

内郷村長沼田濱之助好間村長金成淺治、湯本町長石川徳壽、磐崎村長大和田隆介、赤井村長猪狩忠人、勿來町長代理助横山太一の各關係町村長は九日出縣鑛業關係町村の鑛産税の委譲に就いては

鑛業法の眞精神に則し且つ鑛業所々在町村の財政的窮乏も斟酌してこれを蠲免せしめられたいと陳情したがその内容中に鑛業所々在地のため村經常費の膨脹を來たし亦間接接の被害を理由にして、單に鑛區のみを有し鑛産するがために町村費を費さずまた地表に何等の設備なき町村へは鑛産税の配當をなすべき性質を協議する

平商野外演習

平商業學校五年生の野外演習は今日日佐藤、麻原兩教官引卒の下に好間村上野原で行はれた

酒造興銀融資

石城酒造組合役員會は十五日午後一時から平稅務署樓上で開催興業銀行融資その他を協議する

磐女

アキレス筋切斷により新妻名三壘手を失つた事は連勝を夢みる同軍にとつて拭ふべからざる大なる痛手となつてゐるが好打好走好投の拍子が共に揃つた大熱戦

内村浦中木岐野名島

大志松田鈴木日蝦永(投捕一二三遊右中左)さすがに昨秋の優勝チームに相應はしい偉材揃ひで甲乙なき健棒好打は機を得て風雲を捲き起し大量得点獲得の好チームであるが、尙脾肉の嘆をかこつ新妻氏はベンチコーチャとして悲壯な應援振りを發揮する筈である

區長怪死事件後報

犯人は

相當資産家

今日日中に檢舉

何處で殺されたか、疑問

昨報他殺と認定された下三阪村區長白石清治(五三)の怪死事件は屍體解剖の結果扼殺又は絞殺に依る殺人事件に進展したので被害者の土藏内に設置した平署の捜査本部は昨日朝から隣家の菓子屋佐藤修方に移動し果して何處で殺されたかの疑問を解く爲め被害現場の捜査に同村消防組の出動を求め

計劃的の

兇行か

種々複雑した

問題がからむ

別項一白石區長の殺害事件の原因と目されるものは昨報の事情以外更に新らたな問題が原因の一つと数えられたそれは同村下三阪小学校の基本金造成の爲め白石區長の斡旋で村當局並に營林署に願出た官有地拂下の分割譲渡問題で非區長派並に青年分團員等二十餘名と對立抗争の状態にあり殊に反對派青年團員中には昨

けし下落

四倉の繭市

八日六圓九十八錢の驚異的高値を現出して郡内養蠶家を狂喜させた四倉繭市場の相場は九日に至つて又々六圓九十三錢に落ち變調を續けてゐるが最低五圓廿八錢買馴六圓卅一錢で出廻は四百六十五貫尙同市場取引は来る十六日頃まで繼續される由

買收潰地

整理の交渉

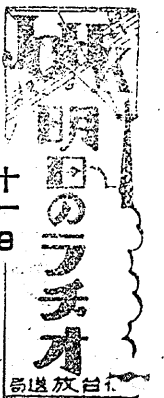
渡邊村地内鮫川堰用水路は明治卅二年の第一期工事以後破損個所多く潰地になつてゐたが今回の改修に先立ち第一期工事の際の買收土地が登記未載のため種々紛糾せるためその整理促進交渉に本日鮫川江水組合管理代理として猪狩氏が渡邊村の現地に出張した

青訓指導

記念の表彰

本郡に於ける左記十四氏は大正十五年青年訓練所開設以來教練指導員として勤続十年に及ぶ功績者として今年青年學校制度實施を記念し表彰されることになつた

高木善枝 藤田榮助 松本茂壽 大平七藏 藪部貞一 松崎保房 齊藤昌孝 志賀繁 佐藤源一郎 佐藤勝 早川雅偉 大橋貞勝 赤津一 小松章



今晚の部
府社樂部六座
後八、二五「ピアノ獨奏」
「快い鍛冶屋のうた」
「ラチエル」カズノスキー
後八、五〇「浪花節」石田三成の最後「筑波雲」
後九、三〇「時報ニュース」
氣象通報 番組豫告

冷害の地に

無被害の稲作

青年篤農家の苦心酬ひらる

郡内農家稲作の收穫皆無や減收の傳へられる折柄凶作地の一篇農家の驚異すべき稲作無被害が石城郡農會柴田技手に依つて發表され收穫減に悩む地方農民を歴然たらしめてゐる、これは十年前から自分で農事機械を造る等、農事改良に努力を續けて来た上遠野村根岸の青年篤農家蛭田政雄(三三)氏で同氏の苗代改良法が今回の驚異すべき好結果を上げたもので現在同村で同氏の指導を受け同様の成績を得たものが十五戸五十町歩の多數に及んで居る、品種は縣獎勵品の愛國甘藷を栽培し苗代の際、四、五本に分割する方法で本田に移す場合は一本宛筋まきしたとの事で此の方法に依れば絶對

齊藤晃氏

起訴猶豫

他の勞務者は何れも不起訴

過般の縣會議員選舉に立候補間もなく選舉違反で平署に檢舉された玉川村大字住吉立憲養成會石城支部長齋藤晃氏は九日平檢事局で起訴猶豫處分と決定齋藤氏と共に檢舉された數名の勞務者は不起訴と決定した

友人の名で

鑛泉に潜伏

東京市荒川區千住町五丁目

水野元郡長に

海軍の功勞章

省より石城郡長在任當時の海軍に盡した功勞に依り表彰されたが今回更に功勞徽章を贈られた

石城販賣利 用組合長水 野虎三郎氏

は過般海軍 與し更に同村和田李之助へも同様依頼した選舉違反事件は今日日平區西判事より略式罰金六十圓に處された、尙右買収に應じた同村大字大林十七農和田和吉(五九)は同四十圓追徴金一圓に處された

第二出場兒童

郡下小學校兒童競技會は既報の如く来る廿日午前八時卅分より磐中グラウンドに舉行されるが第三區より出場の平第二小學校の選手左の如く決定した

美 木村ケイ 安齊喜代子 有賀貞子 高橋喜與子 鈴木錦子(尋六)鈴木光子 花澤綾子 原ツネ子 根岸トキ 山野邊トミエ(高一)松本千代 植松喜美子 關根セキ 大泉安子 岡田美喜子 大谷ケン(高二)八巻ヒデ子 青木タキ 深谷イネ 會澤ヨシ 長谷川キミ 山野邊トミ 小泉カツ子 新妻品子

平裁判たより

△石城郡山田村大字大林字天津十四酒御兼小賣商永山廣吉(三九)は去月廿三日同村和田保吉住宅を訪ね同人に某候補への投票依頼をなし投票報酬として酒一升を供



明治太平記

(明治及上巻)

(寺島在史)

第二百四十七回

自嘲 (六)

「うむ、ほかならぬ高島屋のねがひぢや、まげてゆるしてやらうか」

「ありがたい仕合せ……さア、

船乗の藤兵衛さん、お役人さまに、たんとお禮を申し上げなさい……ほんとうに、おまへさんのその面付きがおさむらひにみえるからいけないのだよ」

あとでふたりは、枕木のかげにかくれて、ひそひそ話を始めた。

「いや、とんだところで出會つたものさなア、芳丸」

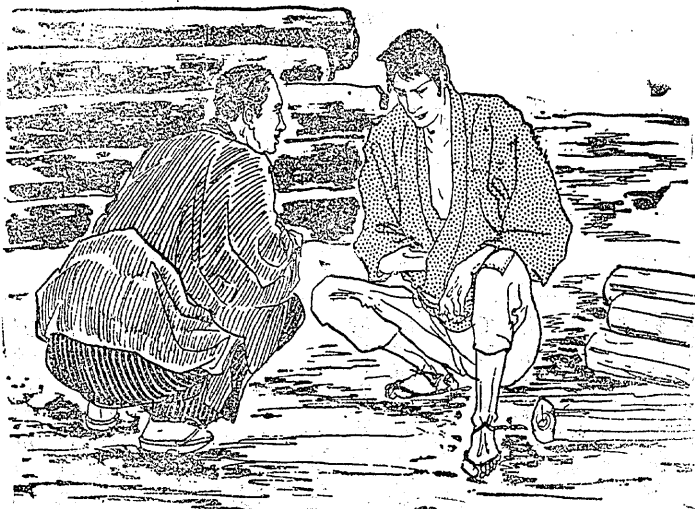
大志賀は、苦笑ひをした

「ほんとに、何でまた大志賀の旦那、こんな工事場へもぐり込んだんです？ 雲助の中へまぢつて、何をしようといふのですね」

芳丸の芳三郎は、眉をひそめた。

「いろ／＼わけがある。さつきの木つ葉役人の眼光の鋭さに敬服したよ」

「へーえ、ぢや、そのおそろしい……」



「待て、どこに誰がきいてをらぬとも限らぬぞ。それよりかおぬしはどうして御用商人にばけてをるのぢや」

「ばけては、あんたのことでせう。はぢかりながらこれでも立派な御用商人ですぜ」

「建てたりして人氣のあるところへ、政府の蒸気車創業にあたり、自費でもつて横濱から神奈川までの海面を埋立て、鐵車路に奉獻したかと、政府筋から重寶がられてをるのぢや、したがつて、その使用人のわつしの肩身もひろいわけ……」

「で、さいぜんの役人も、おぬしの顔を立て、おれの吟味を控へたのだな」

「いや、あれはその、際どいところで袖の下をつかつたので、へ、へ、へ、」

「うむ」

「當節は、金、何んといつ

「役人どもの髪をはさんで廻る御用商人か」

「どうしてなか……」

それでも横濱辨天町の高島嘉右衛門の番頭格で、鐵道工事場へ出入りしてをるわつしです。高島さんが、瓦斯燈事業を企てたり市學校

「でも金です。黄金の力で役人ぐらゐるどうにもなりませア……」

「金かなア……。劍では駄目、格式はいかぬ。意氣よりも金か……」

「わつしも、大いに金を儲けて高島……にまけぬ仕事

をしてみせますよ」

「時勢に迎合したな」

「なアに、わつしは、御一新のそも／＼から時勢にしたがつてませア……西洋髪鉄所の元祖はわつしですよ」

「高島といふ男、ずゐ分氣骨のある男ときいてをつたが、やはり只の男か、政府の鐵路工事にあたり、埋立道路を献納するなど……」

「いや、なか／＼、抜け目がありません。……ときに……」

芳三郎は、あたりを見廻して

「あなたの助太刀商賣は？」

「一向に……」

「おとわさんの一件は、どうなりました??」

「ウエルズめを、取逃して無念だよ」

「おとわさんは？」

「あきらめたよ」

「ところが……」

「なに？」

「あんまり、あきらめた顔でもありませんぜ」

「どうしたと」

「おとわさんが、あなたを慕つてゐるやうに、あなたも、あの女を死ぬほどおもつてゐるんでせう」

「……」

廣告

開院

五十嵐産科醫院

婦人科

醫學博士 五十嵐雄二

平町新川町一二 電話三七〇番

(入院應需)

かまぼこ

お茶屋

平町一丁目

不保實

電話一四一番

來ました!!!皆様の待兼ねの便利の友
お寒くなりお召物の御繕ひに助ります。

新時代に適合せる經濟的重實な家庭必需品を發賣
裁縫代用

糸イラズ

(一名針イラズ)

個重

◎三越・白木屋で非常に好評のイトイラズ即ち糸針を用ひず、織物布類の縫合せ(繕ひ)が出来る……(然し針で出来る、華が出来る)

靴下、シャツ、足袋、毛織物、股引洋服、オーバートンビ等の穴アキの繕ひ

特徴

△何回洗濯しても離れる事なし
△伸縮自在(メリヤス等にもよし)人畜無害
△硬化する事なし(コハバラズ)
△耐水、耐熱、耐酸、耐寒、耐鹽にてイトイラズ(裁縫代用液は多年研究し完全無欠の確信を以て發賣せるものなれば絶対に他の追従を許さざる事を自負す。
■イトイラズは本舖にて絶対責任を負います。
■ニセ物あり御注意願ひます。

定價
試用品………
實用品………
……………203050

阿康藥局

福島縣平町古銀冶町一〇縣社下
代理店 電話四四番
振替東京三〇三番

特約店募集す 早い勝ち

中野齒科醫院

院長 日本齒科 中野 惠次
醫學士 西川 誠
日本齒科 醫學士

耳鼻咽喉科専門

鈴木醫院

醫學士 鈴木 正男
平町山町(電話五八番)
藤田女學校前
自炊のお需めに應ず
入院の便あり